

Vol.169 「学校の感染症への対策」

冬になると、風邪やインフルエンザやノロウイルスなど様々な感染症が流行します。今年は特に「新型コロナウイルス感染症」の発生によって、感染症への予防に注目が高まっています。では、学校はどのような感染症への対策を行っているのでしょうか？今回は、全国の小中高校の教員300人を対象に、学校での感染症の流行の状況、学校での感染症の予防・対策の有無やその内容について調査しました。



調査概要

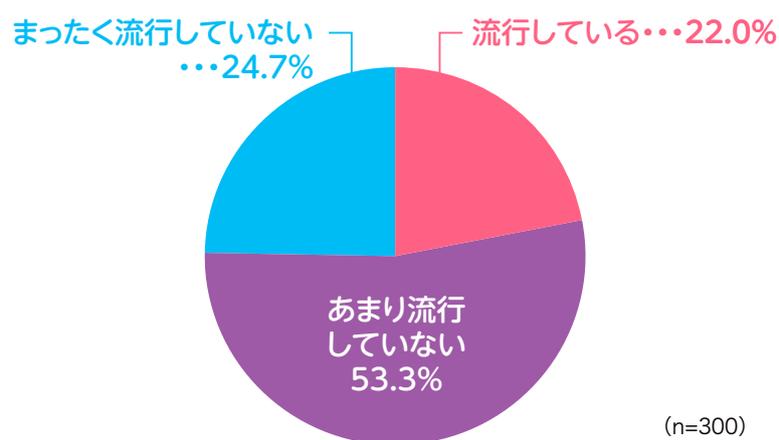
調査対象：全国の小中高校の教員300人

調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2020年2月

Q 1. 学校での感染症の流行状況

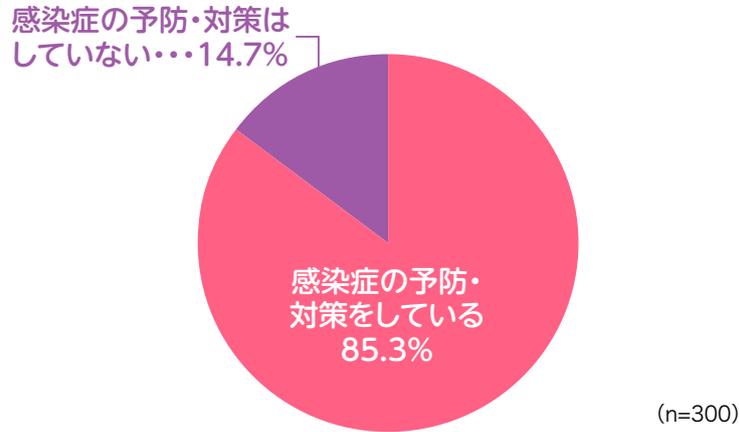
全国の小中高校に勤務する教員を対象に、学校での感染症の流行状況を尋ねたところ、「流行している」(22.0%)、「あまり流行していない」(53.3%)、「まったく流行していない」(24.7%)という結果で、感染症が流行している学校は約2割でした。



【図1】 あなたの勤務する学校で感染症は、流行っていますか。(単数回答)

Q 2. 学校での感染症の予防・対策の有無

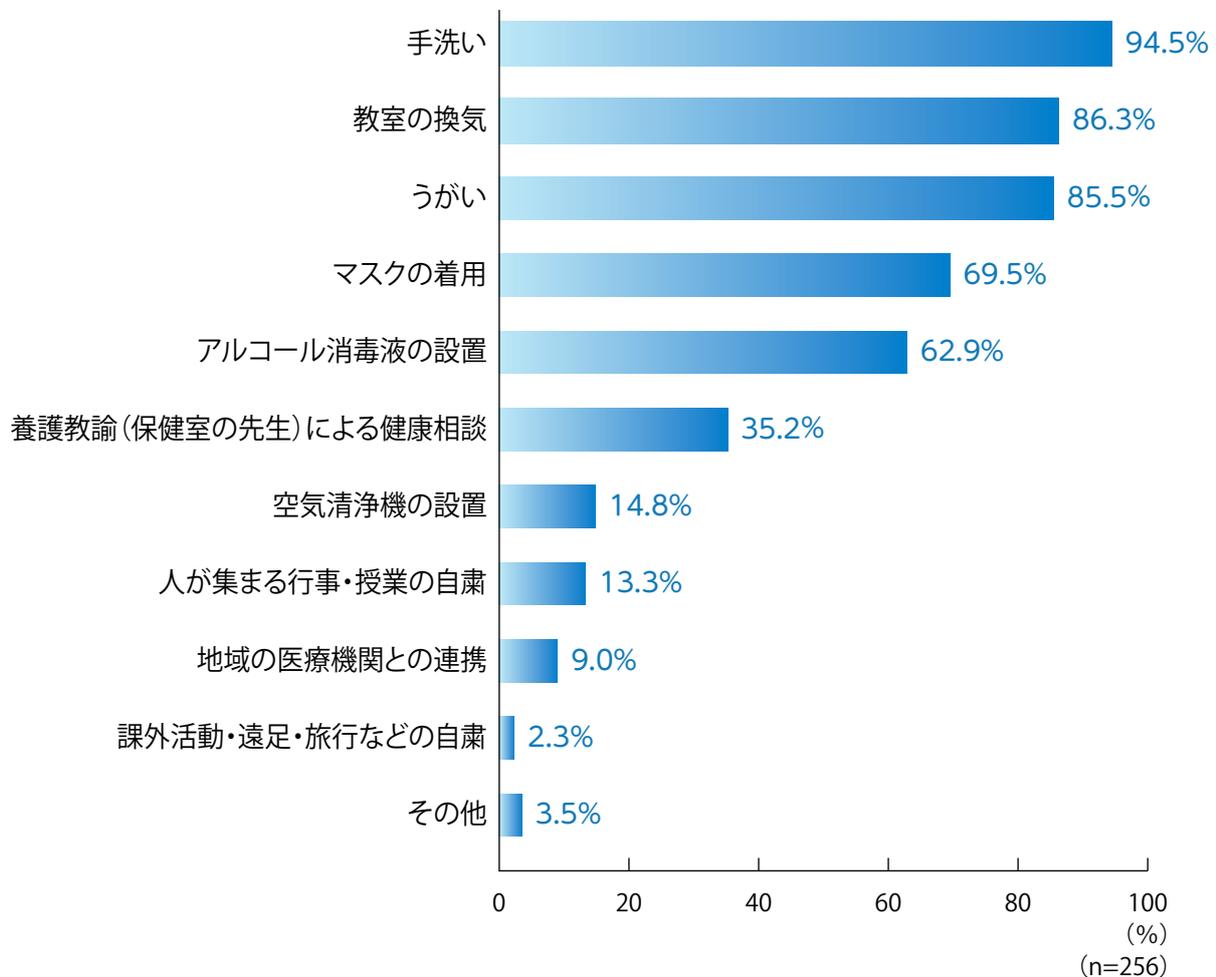
学校での感染症の予防・対策の有無は、「感染症の予防・対策をしている」(85.3%)という状況で、感染症の予防・対策をしている学校が多くみられました。



【図2】 感染症の予防・対策は、学校で行っていますか。(単数回答)

Q 3. 学校での感染症の予防・対策の内容

感染症の予防・対策をしていると回答した学校の取り組み内容は、「手洗い」(94.5%)が最も多く、次に、「教室の換気」(86.3%)、「うがい」(85.5%)、「マスクの着用」(69.5%)、「アルコール消毒液の設置」(62.9%)という回答が半数を超えました。また、「人が集まる行事・授業の自粛」(13.3%)、「課外活動・遠足・旅行などの自粛」(2.3%)といった“自粛”という行動も予防・対策としてあげられました。



【図3】 あなたの勤務する学校で取り組んでいる感染症の予防・対策は、どのような内容ですか。(複数回答)

 まとめ

多くの児童・生徒が集まる学校という場所での感染や蔓延を防ぐために、学校では様々な取り組みや工夫をしているようです。

今回、全国の小中高校の教員を対象に、学校での感染症の流行状況を尋ねたところ、2020年2月時点で感染症が学校で流行しているという回答は約2割で、例年に比べて少ない印象ではありました。学校での感染症の予防・対策は、「感染症の予防・対策をしている」(85.3%)という学校が多く、その感染症の予防・対策の内容は、「手洗い」、「教室の換気」、「うがい」、「マスクの着用」、「アルコール消毒液の設置」という回答が半数を超えています。更に、「人が集まる行事・授業の自粛」、「課外活動・遠足・旅行などの自粛」といった人と人が接触しないような工夫も施している学校もみられました。

空気が乾燥し、気温が低くなる冬季は、感染症が増える季節でもあります。感染症に打ち勝つには、環境面の予防・対策に加えて、日頃から感染症に負けない健康な体を維持することも大切です。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>